

## 平成19年度事業報告書

平成19年5月1日から平成20年4月30日まで

(特定非営利活動法人 GEMBU)

### 1 事業の成果

当法人の平成20年4月30日現在の会員数は、正会員65名、賛助会員32名で、昨年度から正会員が10名減少し、賛助会員が5名増加しました。総会員数は5名の減少となってしまいました。来年度以降、会員数の増加に力を入れていかなければならないと考えております。

植樹事業につきましては、6月17日(日曜日)に、むつ市川内町畑地区の旧畑小中学校跡地の校庭及び旧スキー場において、「第3回ふるさとの森10,000本植樹祭」を開催いたしました。

当法人の名誉顧問であり、横浜国立大学名誉教授である宮脇昭先生も例年通りに陣頭指揮をとっていただき、参加者総勢685人、植樹本数約10,000本を行ないました。むつ市からも全面的な協力を受けました。また、川内第一小学校、同第二小学校、桧川小学校、川内中学校においては学校あるいは学年行事として参加いただき、今までで最高の参加人数での植樹祭となりました。

反省事項としては、経費を節約した為に十分な開墾作業ができず、植樹をする場所の土が思った以上に固かったため、参加者特に子供がポットを植えるのにかなり苦勞をした点です。開墾に重点を置かなければならないことを痛感いたしました。

県外参加者についても50名ほどの参加をいただき、都市生活者と地元住民との交流も引き続き行なうことができていると考えております。

7月と9月に、今まで植樹した大畑町水木沢と今年度の植樹場所である川内町畑において、ボランティアの方による草取りをしていただきました。

10月にはどんぐり拾いを実施。会員や、有志の方々と、トチの実を中心に拾いました。また、会員の方が個人的に拾い集めたナラ等のどんぐりも多数いただきました。

今年度はどんぐりをポット苗に植える方式ではなく、まずはバラ植えをして、芽が出てきて成長しつつあるどんぐりにつきポットへ移し替える方法によるポット苗作りを試みました。この方法だと1つのポットに1つの苗木を育てることができ、効率的に苗木ができるのではないかとの考えからはじめてみました。

11月に川内町湯野川にあるむつ市の温室の中でバラ植えを行ない、3月から4月にかけてポット苗の移し替えを会員並びにボランティアの方々と行いました。現在までにおいては順調に育っているようです。

来年度の植樹祭については、蓄えていたポット苗木のかなりの数を枯らしてしまったこと、宮脇先生のスケジュールが合わなかったこと等の要因から、1年休むこととし、その代わりポット苗の作成や今までの植樹場所へのケア等を中心に活動をしていきた

いと考えております。また、宮脇先生の講演会を11月16日に開催する予定でおります。さらに、小学校における野外学習としてのポット苗作りについても、実現に向けて取り組んでいく所存です。

当法人のもうひとつの事業である「鉄道文化遺産の保存」事業については、今年度は主だった活動は当法人としては行ないませんでした。当法人の正会員でもある「大畑線キハ85動態保存会」の方々が、定例の運転会や地元ボランティアと協力しての活動を継続して行なっております。また、NHKテレビの取材が行なわれ、全国的に紹介されており、今後の活動においても協力をしながら盛り上げて生きたいと考えております。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ふるさとの森づくり事業	・ ふるさとの森 10,000本植樹祭	6月17日	むつ市川内町畑小中学校跡地	40名	会員、地元在住者、県外参加者 685名	1,500
	・ ポット苗作り関連	10月～11月3月～4月	むつ市川内町湯野川他	10名	会員、ボランティア 10名	98